

episode.2

彼はろう学校を卒業後
スポーツ推薦でクマガクに入学した。

「もっと速い人と
一緒に走りたかったから」。
健常者と一緒に走るの
初めてのことだった。

入学後は自己ベストを更新し
いまはデフリンピック※の日本代表をめざしている。

時に伝えたい伝わらないもどかさのみこんで
今日もトラックに向かう。
仲間と走ることが大好きなんだ。

社会科の先生になりたい公務員はどうだろう
スポーツメーカーにも興味が出てきた。
陸上だけじゃない将来の選択肢も 広がりがつつある。

動きだした気持ちはいま
どんな風にも揺るがない一本の樹となって
君のなかにすくと立っていますように。

チャレンジをやめない君の足よ
行け 行け。

もっと速く もっと速く。
まだ、間に合わないはずはない。
君の春はこれからなんだよ。

君が、君を、越えていく。

走り出した夢を
クマガクはすつとすつと
応援します。

まだ見ぬ 君へ。



episode.2
「すつと速く もっと速く」
紙面では伝えきれない
エピソードをご覧ください

 熊本学園大学 80th
KUMAMOTO GAKUEN UNIVERSITY

学校法人熊本学園
熊本学園大学・大学院 | 熊本学園大学付属高等学校
熊本学園大学付属中学校 | 熊本学園大学付属敬愛幼稚園

※4年に1度開催される聴覚障がい者のためのスポーツ競技大会
このエピソードは実際の話を取材・編集したものです。写真はイメージであり、本人を特定するものではありません。